

南海トラフ巨大地震に備えて 総合防災訓練を開催。全市民が意識高める

11月17日、東温市総合防災訓練が市内各所で行われました。東谷小学校では、河之内、則之内、土谷地区から約140名の住民が参加。今回の訓練では、落出トンネルが崩落し、地区が孤立したことを想定。避難所の開設や炊き出し訓練、県防災ヘリによる物資搬送訓練、ドローンの操縦等それぞれの役割に応じた訓練がなされ、防災への意識を高めました。



▲ドローンから撮影された映像



とうおん健康づくりの会 秋のウォーキング大会で元気をチャージ

10月18日、とうおん健康づくりの会秋のウォーキング大会が行われ47名が参加しました。同会では年に2回ウォーキング大会を行っており、今回は中央公民館から市総合公園を目指して約6kmのコースを歩きます。総合公園到着後は色づいた木々の下でゆっくり休憩し、会員同士の会話を楽しんでいました。19ページ「元気のひけつ」に古河さんの感想を掲載していますのでぜひご覧ください。

古本とおいしいものとせせらぎと 滑川BOOK CAMP（第2回）に多数

滑川BOOK CAMPが11月17日、なめがわ清流の森で開催されました。秋晴れの空の下で紙芝居の朗読や、テントで絵本が楽しめるブースなど、秋の日差しを浴びながら自然の中でのんびり本を楽しむこのイベントは、今年で2回目の開催。主催の藤岡慶太さんは「市外や県外からもたくさん来ていただき、滑川地区の良さを広く知ってもらえて嬉しい。来年も続けていきたい」と意欲をみせてくれました。



店主は子どもたち 1日限定のオープンで集客を学ぶ ガキ商店 東温こどもマルシェ

11月9日、東温アートヴィレッジセンター交流スペースアトリエ NEST で「ガキ商店 東温こどもマルシェ」が開催されました。令和元年度市民提案活動支援事業で採択された取り組みで、子どもたちが商品企画から販売を学びました。「お客さんを集めるにはどうしたらいいんだろう？」と考え、元気に呼び込みをしたり、看板を工夫する場面も。普段できない経験を通して子どもたちが成長できる1日となりました。

田植え、収穫、もちつきの流れを体験しよう 東谷地区でもちつき体験 交流深まる

10月20日、東谷小学校の授業参観日に合わせ、もちつき大会が行われました。東谷幼稚園園児や保護者、地域住民も参加し、毎年の恒例行事となっています。慣れた様子の上級生は自分より年下の子どもたちに付き添い、優しく教えます。参加した児童は「おもちはつきたてが最高なんよ!」と自分たちが田植えし、地域の方がお世話してくれて収穫したもち米からできたお餅を口いっぱい頬張っていました。



第4回とうおんファミリーフェスティバル 観光物産センターに美味しいものが勢揃い

11月10日、さくらの湯観光物産センターとさくらの湯で、とうおんファミリーフェスティバルが開催され、さわやかな秋晴れの下で、約3,000人が楽しみました。市内の飲食店がブースをかまえると長蛇の列ができ、体験コーナーでは子どもたちがバスボムづくりやスラックラインに挑戦しました。とうおんスイーツ巡りサイクリングが同時開催され、参加者は道中で、美味しいスイーツと、美しい景色を満喫しました。

はっけよーい、のこった！ ちびっこ“いの子”相撲大会

11月9日、熊野神社（南方）でちびっこいの子相撲大会が行われました。同じ学年同士で対戦し、勝敗を決めていく相撲大会ですが、3歳以下の対戦では「先に笑ったほうが勝ち」の特別ルールも。高学年の対戦になっていくにつれて迫力も増していき、声援にも熱がこもります。土俵の周りを子どもから大人までぐりと囲み、毎年恒例の地域のつながりを感じられる行事でした。



井内棚田の新米まつり 新米おにぎりと豚汁のおもてなしに舌鼓

10月20日、川東公民館で井内棚田の新米まつりが行われました。来場者には新米おにぎりや温かい豚汁がふるまわれ、美しい棚田で作られた井内米やどぶろく、新鮮野菜など産直市も楽しめます。古民家体験施設「井内の里人空田」にも立ち寄ることができ、井内の自然を楽しみながら散歩をする親子連れで賑わいました。

拝志小学校で消費者教育授業を開催 賢いお金の使い方ってどうすればいいの？

11月16日、拝志小学校5年生11人が消費者教育の特別授業を受けました。ふれあい参観日で保護者の見守る中、カレーの食材選びを疑似体験。賞味期限や産地、数量などのポイントを学び、食材購入時の買い物リストを作成していきました。取り組んだ生徒は「食品ロスを出さないように、買いすぎに気をつけた。家でもリストをつけて買い物に出かけた」と話しました。

講師を務めた、市消費生活相談員の武田咲枝氏は「持続可能な地域社会をつくるためには、食品ロスの削減は大きな課題。題材は、授業の中でも子どもたちが楽しく学べるよう工夫して作成した。先生の負担減も期待できる」と、若年層からの消費者教育の必要性を訴えました。



青年農業者協議会が農林水産賞受賞 パクチーの販路開拓や学校給食に貢献

11月6日に愛媛新聞社本社で行われた贈呈式では、協議会を代表して、八塚会長が賞状を受け取りました。

生産者の少ないエスニック野菜に着目したパクチー

の産地化や学校給食とのコラボレーション、どてかぼちゃカーニバルでの情報発信などに取り組んだことが評価され、受賞に至りました。協議会の皆さん、おめでとうございます。



▲飼育員から地球温暖化の影響を学ぶ参加者。カバの餌やりで動物と親しむ場面も

トコトコお散歩しながら、自然を探そう 自然観察会「とことこクラブ」を開催

市では、地域の自然環境への愛着を深めて、自然環境を守る気持ちを高めるため、小さな子どもたちのためのおさんぽ会「とことこクラブ（運営…NPO法人自然環境教育えことのは）」を開催しています。

11月13日に4回目の開催を迎え、会場となった花き研究指導室（下林）には、未就園児と保護者さん15組以上が集合。イベントが始まり、絵本の読み聞かせやオカリナの演奏の場面では、

木のおもちやで遊んでいた子どもたちはジッと前を見つめて、演奏を聞き入っていました。

講師から昆虫の説明を受けたあと、子どもたちは虫あみや虫かごを持って外に出かけ、草木が色付きはじめた会場で、捕まえたダンゴムシやチョウチョをお互いに見せ合っていました。

次回は、来年1月15日10時30分からツインドーム重信（西岡）で開催します。ぜひお越しください。



東温市文化祭開催 展示と発表会で公民館が賑わう

芸術・文化の秋が深まりはじめた11月初旬、市内2か所の公民館で、毎年恒例の文化祭（主催…東温市文化協会）が開催されました。会場には、会員や児童・生徒、一般の人がつくり上げた絵画や陶芸、習字、写真、手芸品、俳句などの作品を期間中展示しており、各期間の最終日には、バザー、即売会、芸能発表会が開催され、会場は、つき

たてのお餅を求める来場者などで賑わいました。

展示された絵手紙の作品を見た来場者は、「綺麗やねえ」「こんな絵手紙をもったら嬉しいわ」と話していました。

生涯学習課では、さまざまな講座や教室を開催しています。文化協会やスポーツ協会などの加盟団体の連絡先は、毎年発行される「教室のご案内」をご覧ください。



親子で考えようCOOL CHOICE とべ動物園で地球温暖化を学ぶ

11月2日、県立とべ動物園で地球温暖化に関する環境学習が行われました。

参加した市内小学生の親子50組は、飼育員から動物の生態についての解説を聞きながら園内を散策。普段は入れないキリンの獣舎やカバの餌やりを体験して、動物との触れ合いを楽しみました。

後、海外から新しくやってくることは無いそうです。

散策が終わると、愛媛県環境マイスターの山岡ヒロミさんが講演し、「地球温暖化を防ぐために、私たちにできることはなんでしょう？」と参加者に呼びかけました。子どもたちは、「電気をこまめに消す」「食べ物を残さず食べる」など今日からできる温暖化対策を宣言していました。